

2025
ズバリ! 的中



日本史

関西学院大学

明治期の美術界で活躍した人物の
事績を問う問題がズバリ的中

入試問題

2月1日実施 全学部日程
大問〔IV〕設問2

〔IV〕次の文章A・Bを読んで設問に答えなさい。もっとも適切な答えを一つマークしなさい。

A. 明治維新の後には、さまざまな分野で西洋文化の移植が試みられた。音楽では、まず軍隊（軍楽隊）で西洋音楽が取り入れられ、小学校教育でも洋風唱歌が採用された。その後、 a らによって東京音楽学校が設立され、西洋音楽の専門教育が始まった。大正時代になると、山田耕柊らによって、本格的な交響楽をめざす運動も始まった。

美術では、 b が開設されて西洋美術の導入がはかられ、やがて浅井忠や黒田清輝らの洋画家が登場した。その一方、 c 西倉天心らは伝統美術を再評価し、日本画も新たな発展をみせた。20世紀になると、 d 政府が主催する美術展覧会も開催されるようになった。

演劇の場合、明治維新後も歌舞伎が中心的位置を占め、壮士芝居から生まれた f も西洋の近代演劇とは異なるものだった。しかし日露戦争後になると、坪内逍遙らの g や、小山内薫らの h が西洋近代劇を紹介して i と呼ばれた。西洋近代劇を目ざす運動は、その後も j らの k によって発展していった。

【設問】

1. 空欄 a・b に該当する語句の組合せとして、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. a : 伊沢修二・b : 工部美術学校 イ. a : 伊沢修二・b : 東京美術学校
ウ. a : 滝廉太郎・b : 工部美術学校 エ. a : 滝廉太郎・b : 東京美術学校

2. 下線部 c・d に関する説明として、正しいものを下記より選びなさい。

- ア. 黒田清輝は、アメリカに留学して近代絵画の手法を学んだ。
イ. 日本に帰国した黒田清輝は、白馬会の設立に尽力した。
ウ. 岡倉天心は、ベルツとともに日本の伝統美術を調査し、伝統美術再評価の流れをつくった。
エ. 岡倉天心らにより設立された明治美術会では、日本画の振興を目的にしていた。

3. 下線部 e に関する説明として、誤っているものを下記より選びなさい。

- ア. 日露戦争の直前から開催されるようになった。
イ. 文部省が主催する、文部省美術展覧会（文展）として開催された。
ウ. 洋画・日本画・彫刻の三部門からなる総合展覧会だった。
エ. 第一次世界大戦後には、帝国美術院美術展覧会（帝展）となった。

河合塾

冬期講習
関関同立大日本史 第5講 大問3 設問5

3 近現代の文化

次のA～Dの文章を読んで設問に答えなさい。もっとも適当な選択肢を一つ選びなさい。

B 明治政府が主導した a 文明開化の風潮は、芸術にも大きな変化をもたらした。西洋美術の教育や活動を行なうために b 専門的な学校や組織が設置された。一方で、維新以後軽視された伝統的な芸術の復興も図られ、 c 日本画や彫刻などの美術界をはじめ、 d 演劇界にも新たな風が吹いた。また e 文学界でも近代文学が形成された。

【設問】

5. 下線部 e の説明として、誤っているものを下記より選びなさい。なお、すべて正しい場合は「エ」と答えなさい。

- ア. 浅井忠は、日本初の西洋美術団体の明治美術会を結成した。
イ. フランスから帰国した黒田清輝は、白馬会を組織した。
ウ. 岡倉天心は、フェノロサと協力して、西洋美術教育の拠点として工部美術学校を設立した。